

群馬県立伊勢崎商業高等学校 学校評価一覧表 (令和8年度版)

羅 針 盤			方 策
評価対象	評価項目	具体的数値項目	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①各学科の特色を踏まえ、専門性を生かした教育課程に、生徒の80%以上が満足している。	・生徒の立場に立った新しい授業観に基づく授業研究を推進し、「より深く考えるようになる」、「よりうまくできるようになる」ことを目指した指導方法の充実を図る。
		②「あいさつは人より先に元気よく」を実行している生徒が80%以上である。	・生徒の実態を考慮し、基礎学力の充実を図り、専門的な知識・技能を習得させ、地域社会に貢献できる商業人の育成を目指す。
		③自分の学校が好きと感じている生徒の割合は、80%以上である。	・徳育の充実と礼(あいさつ、返事、礼)を励行できるように、授業の開始と終了の「あいさつ」を大切に、徹底する。
		④インターンシップへ積極的に参加し、参加した生徒の80%以上が満足している。	・登下校時に「あいさつ運動」を行い、人間関係の礎となるあいさつの習慣化を図る。
		⑤社会人講師(交通安全教室、非行防止教室等)による講演等を生徒の80%以上が満足している。	・部活動の充実、道徳教育や人権教育の推進を図り、自主的、主体的、協力的な学校生活を送れるよう支援する。
		⑥「課題研究」に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒が80%以上である。	・社会における対人関係や協調性、職業意識をほぐす。進路考察等に役立つ受入事業所の開拓を行う。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①生徒の実態を踏まえた学習指導を行い「授業が分かりやすい」と、生徒の80%以上が答えている。	・職業観・勤労観の育成とキャリア教育の充実を図るため、商業科目等の学習を通して、ビジネス活動に興味を持たせ、インターンシップへの主体的な参加を支援する。
		②すべての教師がICTの効果的な活用を含めた「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、授業改善の推進に取り組んでいる。	・講演等のねらいを明確にし、生徒の興味、関心、知識、理解を深める魅力ある講師を招き、事前の打ち合わせをしっかりと行う。
		③読書指導により、学校図書館における1日平均貸出冊数が10冊以上である。	・学期や年間を見通した自己テーマを設定させ、自信を持って取組めるよう支援する。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	①学習に意欲的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	・「活動を通して学ばせる商業教育」を目指し、実践的な体験を通して、自発的な取り組みを引き出し、発想を形にできる企画力の育成を図る。
		②授業以外での全ての自主学習時間(家庭学習及び朝学習や放課後の学習を含む)は、1日平均1時間以上である。	・研究授業や授業研究等、日々の授業改善を通して指導力の向上を図る。
		③高度資格取得にチャレンジする生徒が30%以上である。	・必要に応じて中学校までの学習内容の学び直しを行い、基礎基本の定着を図る。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1~2回程度実施している。	・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、生徒の主体性を引き出す授業を目指し、ICT機器の使用が目的となることのないよう、有効活用した授業改善の推進を図る。
		②生徒会活動が充実していると評価している生徒が、75%以上である。	・「図書館通信」及び「新着図書案内」を定期的に発行し、生徒への読書意識を高める。
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	①「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。	・図書館のディスプレイの工夫や、広報を通じて本のPRを積極的に行う。
		①欠席率が2.0%以下である。	・ビブリオバトル校内大会を実施し、生徒・教師の参加によって利用拡大に努める。
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。	・デジタルサイネージや電子黒板を活用し、DX化を図る。
		①欠席率が2.0%以下である。	・学習の進度、理解度等に遅れのある生徒に対し、習熟度別学習や計画的な補習等を実施し、つまずきや遅れを克服する。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	①学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が、80%以上である。	・学習に消極的な生徒に対し、担任と教科担当との連携した指導により意識の変革を促す。
		②進路だよりを、年10回以上発行している。	・資格取得など、個に応じた目標を明確にもたせ、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。
		③生徒の進路について理解している保護者が、80%以上である。	・教科指導と運動した計画的で持続的な課題を提示し、ねらいや学習方法、提出日等を明示し、課題に真摯に取り組ませる姿勢を育てる。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	①進路に関する情報を自ら得ようと努めている生徒が、80%以上である。	・朝のSHR前に「朝学習活動」を導入し、日々の積み重ねによる学習意欲の喚起と習慣化を図る。
		②目標とした進路を実現できた生徒が、80%以上である。	・授業の充実を図り資格取得につなげる。
		③進路に関する情報を自ら得ようと努めている生徒が、80%以上である。	・希望者には検定試験対策を教科、学年で協力して実施する機会を作る。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①学年保護者会等に積極的に参加している保護者が、80%以上である。	・個に応じた専門的な知識・技能の習得を図り、生徒が各種検定試験に主体的に挑戦できるよう促す。
		②学校のWebページを1か月に3回以上更新している。	・授業での観察、登校時のあいさつ、声かけ等を積極的に行い、生徒の変容を見落とさず、早期発見及び早期指導に努める。
		③「学校見学会」等の実施により、「学校の様子がわかった」との回答が参加者の80%以上である。	・定例の学年会議・運営委員会で必ず生徒の情報交換を行い、職員会議等を通じて職員間で情報を共有する。
	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	①ICTを活用した授業を80%以上の教師が実施している。	・生徒会専用掲示板等を活用し、活動状況を全生徒に周知する。
		①オンラインによるアンケート等を2回以上実施している。	・生徒会行事への全員参加を目標に、生徒個々の意見を生かして計画を立てる。
		②ペーパーレスの職員会議を10回以上実施している。	・長期休業前に生徒面談週間を設け、適応指導と併せていじめの発見に努める。
VI 教育デジタル化に努めていますか。	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	①ICTを活用した授業を80%以上の教師が実施している。	・休み時間や昼休み等において生徒の行動を観察する。
		①オンラインによるアンケート等を2回以上実施している。	・定期的に生徒の実態に応じたアンケートを実施する。